

あけましておめでとう
 ございます。昨年は様々な
 場面で大震災からの復興
 の息吹を感じることがで
 きる一年でした。南大和病
 院もこれまでと同様、「周
 辺地域の方々への貢献を
 最優先とした医療」を実
 践すべくいろいろなことに
 取り組みました。

具体的には、内視鏡部
 門の強化、肛門外来の拡
 充、市民講座の開催、地域
 連携室開設、オーダーリ
 グシステム導入などを行
 いました。

内視鏡部門はこれまで
 も南大和病院の得意分野
 でありました。胃内視鏡
 件数、大腸内視鏡件数が
 毎年増加しているのに伴
 い、内視鏡部門を独立させ
 センター化しました。

消化器専門の医師・看
 護師のチームが最新の内
 視鏡機器を用いて、学会



**病院長
 新年の
 ごあいさつ**

等が定めたガイドラインに
 沿った診断及び最新の治
 療を実践しております。
 また痔に関してはここ
 数年治療法の進歩が目覚
 ましく、それを専門的に
 実践する肛門外来も開設
 しました。

他に地域の方々により
 密接に関わるために市民
 講座開催に初めて取り組
 み、地域連携室も立ち上
 げました。

本年4月1日に、高座渋谷
 谷駅ビル「IKOZA」内に
 「南大和高座クリニック」
 を開院いたします。一般外
 来、他、人工透析のベッド
 を22床ご用意し、皆様の
 利便に供します。

今年も、皆様のご意見
 を取り入れながら、よりよ
 い南大和病院にすべく職
 員一同努力してまいります
 のでよろしくお願い申し
 上げます。

平成25年1月1日
 南大和病院長 藤井 真



高座渋谷駅西口 IKOZA2階

**2013
 4/1開院** 駅徒歩0分
 無料駐車場
 無料送迎バス

南大和高座クリニック

人工透析ベッド22床

診療のご案内

■内科、外科
 消化器外科
 9:00~11:00
 12:00~14:00

■人工透析内科
 (透析ベッド 22床)
 9:00~14:00

最新の設備を備えた透
 析施設が駅徒歩0分に
 オープンします。
 (送迎バスあり)



※写真は南大和病院透析センターのものです。

お問い合わせは…
 南大和病院 (代表)

☎046 (269) 2411

第1部 くしゃみ、目がかゆい



医師が教える **花粉症**
 対策
 南大和クリニック院長
廣瀬 直人

第2部 管理栄養士による



乳酸菌の
 美味しいお話
 南大和病院 栄養科長
工藤 美香

**市 民
 講 座**

第3回

日 程	会 場	場 所
2月7日(木) 10:30~11:30	いちょうコミュニティハウス	横浜市立いちょう小学校内
2月9日(土) 11:30~12:30	IKOZA 渋谷学習センター	高座渋谷駅前複合ビル IKOZA内304講習室(3階)
2月14日(木) 10:30~11:30	南大和病院	病院4階 会議室

入場無料(ご予約の必要はありません)

病院からの無料送迎バスをご用意しております。

(開始30分前病院発、終了20分後会場発)

駐車場のご用意はございません。(近隣の有料駐車場をご利用下さい)

各会場とも同じ内容です。ご都合のよろしい会場をご利用ください。

いっしょにはー地域連携室です

みなさん、地域連携室をご存知ですか？ 2階フロアの一角に、この部署は存在します。これまでは「患者支援室」として活動しておりましたが、今年11月より「地域連携室」に名前をリニューアルしました。外来や病棟などに比べ、直接皆様とお会いする機会が少なく、あまり目立たない、聞きなれない部署かと存じます。この場をお借りして、皆様にも少しでも私どものことを知って頂けたらと思います。



地域連携室スタッフ
右から ケースワーカー 星野久、室長 遠藤愛
看護師 井上千晴、ケースワーカー 多田涼子

現在、地域連携室にはケースワーカーの多田・星野、看護師の遠藤・井上の4名が勤務しております。ケースワーカーは、医療・福祉に関わる幅広い専門知識を活用して、相談業務、施設や病院などの各機関との連絡・調整業務、退院時の調整などを行っております。看護師は、主に入院患者様・家族で退院後の生活に不

安のある方を対象に、病棟看護師や医師、リハビリなど病院内のスタッフ、ときには地域の各機関と連携を取りながら、安心して退院するためのお手伝いをしています。

少々お堅い話になりますが、現在の日本の超高齢社会、団塊の世代が後期高齢者になる2025年を見据えて、これからの医療は「治療からケア（看護・介護）へ」「病院から在宅へ」と方向転換していきます。「すべての人がその人らしく、住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるようにするために」のお手伝いを、私たちは行っていきたいと考えています。

また、不定期ではありますが、正面玄関を入って左手の総合案内で「医療相談窓口」の業務も行ってまいります。病気や治療、生活、介護、医療費など：「どこに相談すればよいかわからない」という時は、ぜひ医療相談窓口をご利用ください。ご来院の際に受付に声をかけて頂くか、お電話でのお問い合わせでも結構です。お気軽にご相談ください。

地域連携室電話番号
046-269-12474

最近の活動報告としては、11月・12月に渋谷学

習センター（IKOZA内）、いちようコミュニティハウス、下和田コミュニティセンターで開催しました市民講座に、看護師の遠藤と井上が企画メンバーの一員として参加しました。11月は糖尿病予防教室、12月はインフルエンザと肛門外来について講座を開きました。寒いなか足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。日頃から南大和をご利用になられている方、そうでない方にも多数来場して頂きました。病気を知らずともらい、その予防・治療について理解を深めていただくということはもちろんですが、直接地域住民の方々とお会いし、ご意見・ご感想を頂けたことは、私どもにとっても大変貴重な経験となりました。

最後になりますが、今後も南大和をご利用の方々をはじめ、地域住民の方々のために、地域連携室が「縁の下力持ち」として、少しでもお役に立つことができれば幸いです。

（文責 地域連携室長 遠藤）

大和市消防出初式に参加



臨床工学技士の木村と牧本です。私達は昨年10月に行われた消火技術大会に続き、大和市消防出初式に参加させて頂きました。スタッフ代表として出場させて頂くことに緊張しましたが、少年消防団・他企業の方・消防士の迫力ある演技に私達は多くの方々が守りたいものを守る為に日々訓練しているのだと実感しました。今回の体験を通して、これからも医療の立場から患者様の安心・安全を確保するとともに、火災や地震などといった災害からお守りできるよう今後も務めていきたいと思います。

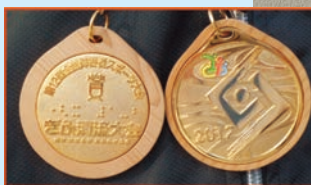


第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」

水泳2種目金メダル!!



神奈川県代表ユニフォームを着た齋藤さん



平成24年10月11日～16日に、岐阜県で国内最大の障害者スポーツの祭典である第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」が行われました。南大和病院で日々リハビリに励んでおられる齋藤真さん（61歳）が水泳の神奈川県代表に選ばれました。

齋藤さんはクモ膜下出血の後遺症で、右の手足と言葉に障害があります。大会では、25m自由形と25m背泳ぎの2種目に出場し、見事2種目金メダルを獲得されました！

大会後、病院に金メダルを見せに来て下さった齋藤さんにコメントをいただきました。 「不安もありましたが、背中を押してくれたリハビリの先生たちをはじめ皆さんの声援、競技会場内での応援があったからこそ頑張ることができました。本当に皆さんありがとうございました。本大会で競技できたなんて夢のようです。障害があっても、誰でも挑戦することができるようです。これからも目標を持って、色々なことに挑戦していきたいと思っています。」 齋藤さん、本当におめでとうございました!!

院内研究発表会開催される

【院長賞・「病院賞」の栄冠を褥瘡委員会がダブル受賞。
【好演賞】NST委員会が受賞。

平成24年11月28日に、南大和院内研究発表会が、南大和クリニック2階にて開催されました。今年は看護研究発表会の予選を勝ち抜いた3演題に他部門からの4演題が加わり、盛大に行われました。そこで、各賞を受賞した演題を中心にその内容をご紹介します。

●【院長賞・「病院賞」ダブル受賞
褥瘡委員会・発表者 坂口紀子
「陰圧閉鎖システムにて治療した全身褥瘡の一症例」

【要約】
当院は、2002年から看護部・薬剤部・栄養部・医師が中心に、褥瘡委員会を組織しています。

最近、褥瘡に対する治療は、陰圧閉鎖療法が、基材単独の保存的治療と比較し、治療期間の短縮、治療期間中のトラブルが少なく注目されている。

今回、当院で陰圧閉鎖療法を行って、褥瘡の迅速な治療が可能となった症例を経験した。
浸出液が多い褥瘡に対しJ-VACを用いての処置を行った。
陰圧閉鎖療法開始後に、創面の良好な治療をきたした。

当院での陰圧閉鎖療法は褥瘡の早期治療に対して効果的であると思われた。
褥瘡委員会のチームにて、



院長賞と病院賞のW受賞で、褥瘡委員会には豪華な懸賞が授与されました。

褥瘡管理を行うことで、効果的に症例の抽出、経過をチェックすることができた。陰圧閉鎖療法は市販のシステムで施行されることが多く、コスト・管理の問題があるが市販のシステムにて施行することが可能であった。

●【好演賞】受賞
NST委員会・発表者 小安かおり

「NSTの活動報告とその介入効果」

はじめに

「NST」って何..?

「NST (Nutrition Support Team)」は、患者様に適切な栄養管理が行われるよう支援することを目的にしたチームのことです。医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・言語聴覚士・検査技師・理学療法士・臨床工学技士らで構成され、患者様の栄養状態を良くすること、治療効果を高めたり、社会復帰を支援することを目指します。」

【要約】

当院のNSTは2001年より稼働し、多職種による適切な栄養管理を行っている。今回はNSTの活動及びその

介入効果について報告する。対象者の血液データ・喫食量・身体計測・食事形態の項目を総合的に評価し、改善・維持・増悪の3つに分類してNST介入前後での比較を行った。

癌について維持が過半数を占めており化学療法などによる食思低下から栄養管理なしでは低栄養状態に陥る恐れがあるが、悪化せずに維持できている結果に介入効果があつたと思われる。また、手術を行う患者は術前から介入し栄養状態の維持・改善を図ったうえで手術に臨むことが早期回復改善に繋がったと思われる。方、ターミナル患者については増悪が半数を占めており栄養管理の限界を感じたが、患者の思いを大切にすため緩和ケアにおける食事提供を継続する必要があると考える。

今回NST介入の効果を示すことで栄養療法の必要性や可能性が示唆された。

今後とも各職種の専門性に委ねるとともにその役割を十分把握したうえで栄養をサポートし、患者にとって価値のあるNSTになるよう活動方法を模索していきたい。



NST委員会

以上受賞した演題の内容を紹介しましたが、惜しくも受賞を逃した演題の中にも素晴らしい内容がたくさん含ま

れておりました。

●リハビリテーション部・発表者 小俣慶高
「在宅復帰後の生活機能と介護者の負担感の変化について」

●3階病棟・発表者 脇田優香
「長期入院患者の看護記録を振り返る」

●老健看護・発表者 五ノ井富美子
「経管栄養から経口移行への取り組み」

●臨床工学部・発表者 松下寛
「オンラインHDFにおける専用ダイヤライザーの評価」
オンラインHDFとは何か」

●2階病棟・発表者 南絵里加
「アロマセラピーで不穏を和らげたい」
「薬に頼らない看護を考える」



発表者：後列右から 褥瘡委員会 坂口紀子、老健看護 五ノ井富美子、3階病棟 脇田優香、リハビリテーション部 小俣慶高、前列右から 臨床工学部 松下寛、2階病棟 南絵里加 NST委員会 小安かおり

今年もとても有意義な発表会でした。

発表会の企画・運営に携わった実行委員会の奮闘努力に感謝したいと思います。
(文責 編集委員 中根)

看護研究発表会

平成24年10月31日、看護研究発表会が院内研究発表会への予選を兼ねて開催され、8演目が発表されました。どの内容も興味深いものでしたが、院内研究発表会へは、2階病棟3階病棟・老健看護の3演題が推薦されました。そこで、ここではそれ以外の演題の内容をご紹介します。

●リハビリ病棟・発表者 鈴木理美
「リハビリ病棟における退院に向けての家族の意識調査」

●居宅介護支援事業所・発表者 座間太郎
「南大和クリニック居宅介護支援事業所の現状と課題」

●訪問看護ステーション・発表者 高橋美咲
「病院と在宅介護サービスの連携のあり方を考える」

●訪問看護ステーション・発表者 高橋美咲
「在宅生活へ移行するための退院カンファレンスとは」

●老健介護・発表者 大石美加子
「転倒防止に向けての取り組み」
「できる力を大切に」

●透析センター・発表者 喜納真理絵
「シャントにやさしい止血ベルトの使い方を考える」
止血方法のアンケート調査をとって見えたこと」

紙面の都合上、発表内容を大きく割愛させていただきます。ことをお詫び申し上げます。
院内研究発表会に進んだ演題に関しては、そちらを参考にしてください。

(文責 編集委員 中根)

コト・ブレイク



新年明けましておめでとうございます。お正月は初詣に行かれた方も多いかと思いますが、私は毎年、八方除の守護神である寒川神社にお参りに行っています。神様にお参りするのはもちろんですが、お札、お守りをお返しして新しいものを買って、八福餅を買って帰るのが毎年の定番です。たまに『おみくじ』を引いてその年を占ったりもします。寒川神社のおみくじは、四季の花みくじというもので、花言葉が書いてあります。おみくじは、その神社やお寺によって様々なものがあるようですが、千支や達磨など縁起物の木彫りのおみくじが入っているもの、おまけとして可愛いお守りがついているものもよく見かけます。私も可愛いおみくじがあるとつい引いてしまおうのですが、そもそもおみくじの由来って何なのでしょう??

そのルーツは、平安時代の天台宗延暦寺の高僧「良源」が人間の運勢、吉凶を漢詩で作ったものが始まりとされています。その後、国政(まつりごと)に関する事項や後継者を選ぶ際に、神の意志を占うために、くじを引いて決めていました。例えば『鶴岡八幡宮で天皇を決めるのにくじを引き』
『明智光秀が本能寺へ乗り込む前にくじを引いた』という記録が残されています。もう一つ気になったのが、おみくじの良い、悪いの順番です。神社やお寺によって種類も様々あるようですが「大吉、中吉、小吉、吉、半吉、末吉、末小吉、凶、小凶、半凶、末凶、大凶」が一般的に正しい順番と言われているようです。特に「吉」がどこに位置するのかが難しいところ、大吉の次に良いとすると書かれているお寺もありました。いずれにせよ、吉凶よりも、運勢の説明で何が語られているかが大切であるようです。
ちなみに日本のおみくじは、数百年前のお金を払いますが、昨年、旅行で訪れた台湾では無料のおみくじが引きました。ただし、日本のように箱から1つ引くのではなく、三日月型をした木片を2つ地面に投げて、その裏表で、神様の意思を確認しないといけません。例えば「裏と裏」が出たら神様への挨拶からもう一度やり直します。なかなか工程が複雑で大変でした。結果は、ガイドさんに訊いていただきましたが、あまり良くなかったようで言葉を濁しておられました。(笑)
参拝に訪れた人が吉凶を占い楽しむ文化はどの国も同じのようですね。
今回、調べてみるとなかなか奥が深いおみくじ。皆様の今年の運勢はどうだったのでしょうか?

(文責 編集委員 立川)

リレーエッセイ

人をつなぐ



執筆者に次のエッセイストを紹介頂ぎ、どんどん職員間にエッセイの輪をひろげていきます。40番目はケースワーカーの星野久さんです。

地域連携室のケースワーカー！社会福祉士の星野久です。偶然、この同じ号にて地域連携室の紹介記事が掲載されていますので、そちらもご覧くださいね。今日は、まだあまり知られていない(?)「社会福祉士」という職業と、この仕事を選んだきっかけをお伝えしたいと思います。

私は平成13年に前職を辞めて、長年準備してきた留学をする予定でした。ところが、出発の8日前に父が脳梗塞を発症して入院しました。幸い体の麻痺は軽度でしたが、重度の失語症となり、「仕事が生きていくの父にとって、いっぺんにとても多くの事を奪われた思いが強かったはず」です。当時はまだ「回復期リハビリ」が出来る病院がとも少なかつたのですが、なんとか言語訓練も出来る病院へ転院しました。でも、障害が重く言葉の回復はなかなか難しく、また原因不明の頭痛などを訴えるようになって多種大量の精神薬も処方され、転倒を繰り返す...どうしよう...と悩んでいるうちに「退院」しなければならなくなりました。私なりにあちこち必死にSOSをだしていたら、高校時代の親

友が紹介してくれた人が、「藤沢市役所にちゃんと話を聞いてくれる保健師さんがいる」と(また)紹介してもらいました。その方に相談に行き、あれこれ訴えていると「もう覚悟を決めて在宅で介護するしかないのでは?」と、知り合いという訪問看護ステーションに目の前で電話してくれて、そこでケアマネジャーと訪問看護師を決めてくれました。介護保険制度はまだスタートから2年目で、私は何が何だかまだ分かりませんでしたが、なんだか(本当に)遠くにほのかな灯りが見えた気がしました。

きょうだい3人(とネコ1匹)が集まり、借家を借りて父を迎え入れ、家族のあたらしい生活がスタートしました。

私はその後、アルバイトをしながら通信制の学校で学び直して、社会福祉士の資格を取りました。社会福祉士はあの保健師さんみたいに、いつもばつと何かを紹介するような力があるわけではありませんが、患者さんやご家族の話を伺いながら、一緒に役に立ちそうな人や制度、施設や病院などに「つなげる」お手伝いをする仕事です。

私は、あの時助けてくれた1人ひとりが「役に立ってくれそうなのはいいかな...」とまた次のひとつづつにつなげてくれたのが不思議でした。いまは、その思いを大事にしていきたいです。

なにかご相談がございましたら、地域連携室にお声掛け下さい。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

今回のリレーエッセイの執筆者は、地域連携室の看護師、井上千晴さんです。どうぞお楽しみに！

編集後記



★今年も、広報誌「みなみだま」をよろしくお願ひ致します。

.....中根

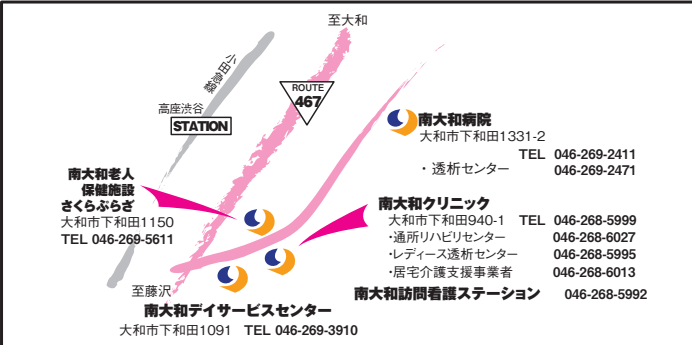
★今年もオッサンパワーでGO!といきたいところですが、...増淵今年もひと転びしました。頭と体のリハビリ頑張ります。皆さんも一緒に!!.....吉田

★1年に1度回ってくるコーヒーブレイク。文章を書くことって難しいです。日記を書くのと呆けなんって言われていますが確かにそうかも!.....立川

★2013年、だいすきなもつ鍋の季節になりました!今年は食べ過ぎに注意します!.....長友今年もどうぞよろしくお願ひします。楽しい1年になりますように!.....桐沢

★先日、南大和の敷地内をたらたらばて歩いて歩くハクピシンを目撃しました!.....小林

医療法人 新都市医療研究会「君津」会 みなみだま



外来診療予定(平成25年2月1日より)

*夜間19時00分まで外来受付しております。ただし専門外来は予約が必要です。
*土曜日は16時00分までの外来受付となっております。

			月	火	水	木	金	土
AM 9:00 ┆ AM 12:00	午前外来	一般	北村(内科) 深原(外科) 池永(外科) 佐々木(内科)	丸岡(内科) 中川(内科) 正木(外科)	藤井院長(総合) 池田副院長(外科) 北村(内科) 安芸(内・呼吸器) 溝口(内・リウマチ) 松崎(外科)	藤井院長(総合) 大津副院長(内・DM) 北村(内科) 神尾(外科) 金子(外科)	藤井院長(総合) 丸岡(内科) 神尾(外科) 河野(内科) 上田(外科)	池田副院長(外科) 神尾(外科) 天野(胸外) 山崎(胸外) 内藤(胸外) 小川(胸外) 中澤(外科)
		予約 専門	(整形)伊藤	(総合)池田名誉院長 (呼吸器)高安 (整形)川崎	(整形)原 (腎内)上竹	(DM)高地	(整形)松原	(DM・内分泌)田口 (整形)山本 (リウマチ)橋本嘉 (泌尿器)鈴木万 (泌尿器)力石 (胸外)田中真 (腎内)吉村
PM 2:00 ┆ PM 4:00	午後外来	一般	藤井院長(総合) 大津副院長(内科) 丸岡(内科) 佐々木(内科)	藤井院長(総合) 池田副院長(外科) 廣瀬(内科) 中川(内科)	大津副院長(内・総合) 池永(外科) 安芸(内・呼吸器) 道下(内科) 溝口(内・リウマチ) 松崎(外科)	小川英(内科) 金子(外科)	池田副院長(外・乳腺) 廣瀬(内科) 河野(内科) 上田(外科) 星(内科)	深原(外科) 池永(外科) 小川(胸外) 中澤(外科)
		予約 専門	(整形)伊藤	(循環器)鈴木 (整形)川崎	(血管)新本 (腎内)上竹 (整形)原	(循内)橋本通 (DM)高地	(循内)辻 (糖尿病)鈴木真 (整形)松原	(循内)青木 (整形)山本 (リウマチ)橋本嘉 (形成)門田 (DM・内分泌)田口 (血管外科)新本 (胸外)田中真 (泌尿器)鈴木万 (泌尿器)力石
PM 5:00 ┆ PM 7:00	夜間外来	一般	丸岡(内科) 佐々木(内科)	正木(外科) 中川(内科)	松崎(外科) 道下(内科) 安芸(内・呼吸器)	金子(外科) 城(内科) 小川英(内科) 星(内科)	星(内科) 上田(外科)	(脳外科)熊井
		予約 専門	(脳外科)茂野 (整形)平井		(整形)原	(脳外科)熊井	(整形)松原	

上記の予定は都合により変更になることがあります。ご了承下さい。